

えびぞり

立川と語ろう 立川に生きよう

February 2024

Écoutez Bien Vol.40 No.467

2

100年に向かって肅々と 極地研





カオマンガイ



カオマンガイ (茹で鶏のセライスは ガーリックかバター、選べます)

タイ屋台料理は、ここ!

予約必須のお店です。
平日でも、開店と同時に満席、
そのままずっと夜まで客足が途絶えないことがしばしば。
土日はテイクアウトも断られたり。いや〜、人気店!

人気なはずですよ、美味しいですから。
パクチー大丈夫ですか?と尋ねられますが、パクチー苦手でも美味しい。
「速い、美味しい、お手頃」ですからね、行かない理由がない。
アジアンに浸かってみたい日、行ってください。



汁なしトムヤム麺

ソムタム (青パパイヤのサラダ)



パットウンセン (海鮮春雨炒め)



干し豚揚げ (手前)とガイトード (手羽先揚げ)



カオマンガイ
立川市柴崎町2-2-13 1F
TEL 042-527-3655
定休日 水曜日
営業時間 11:30~23:00
(LO 22:00 ドリンク 22:30)

国立極地研究所 創立50周年記念 [最終回]

50年の先に向けて

極地研 新所長に聞く

50周年を迎えた国立極地研究所
2023年10月1日に新しく所長になられた
野木義史さんに聞いた

— 所長は平成6年から極地研に在籍されて、地圏の研究者でいらっしゃいます。

野木 そうですね。身近に地震が起こるじゃないですか。地震はプレートが動いているということですね、そのプレートを中心としたテクトニクスを僕はやっています。

— 大昔、大陸がここここ、くっついていて、それが分かれてこうなった、みたいなことはわかるんですけど。

野木 それ、今はこうくっついていますが、それを戻していくとこうなりますよ、ということをやっているんですよ。僕は海の観測をしているのですが、海って2億年くらい前までしか追いかけれない。それより古いのは陸上のデータを使います。地球上でプレートが同じように過去にも動いていたら、こんなことがあったんだよね、と色々推測しながら、その証拠探しに行っているようなもんですよ。で、見てきたように言うんです。

— (笑) 先生たち、皆さん、そうおっしゃる。「見てきたように言う」って。

野木 そうそう。見てきたように言うんです。「あそこでぶつかって」とか「ここで止まって」とか。その説が事実かどうかはわからないけれど、その時点でその説の筋が通ってればたぶんそう。実際は、本当のことを知らないわけじゃないですか、地球の過去なんて。

— そうですよ。地球の過去を知るため、この度菅沼悠介先生が参加される「西南極ロス棚氷下の地層掘削計画」というのが行われるわけですよ。

野木 そうです。あれで氷床コアより古い時代のところもわかると思いますよ。堆積

物の方が氷床より古い所まで行けるのは当然なので。ただ、解像度があまりよくないが、一方で氷が張った、張らないで、その下の海底に溜まってくるものがあります。その時その上の状態がどうだったかが如実にわかるし、その時の環境がどうだったかというデータが全部残っています。

— この掘削計画の目的は。

野木 なぜそんな過去を調べるかという、今温暖化が進んでCO₂のレベルがグッと上がっているじゃないですか。でも実際には、CO₂のレベルって過去にも現在と同じくらいか高いくらいの時があったんです。それは自然にそう

なっていたのですが、その時に南極の氷はどうなっていたのかということを知りたい。それをわかるには、今現在から予測するのではなくて、過去をちゃんと見て、氷がどこまでありました、この時期にはどこまでありました、と過去を遡るとわかるんですよ。そういうことで西の南極はこういう状態でした、その時東はどうでしたか、といろいろなデータを総合して調べるわけです。

— 過去に氷がどういう状況だったかということ、これは大きなことなんですね。

野木 そう。大きな話なので、南極の氷はどのくらい融けていたのかという話になります。そうすると海面はどのくらい上がっていたのか、それに伴って他の所はどうなっていたのか。このくらいのCO₂レベルでこのくらい気温が上がるのだとしたら、南極の氷はここまで行くということがだいたいわかるんじゃないかと。それをモデルで計算していくと、過去と現在をつないで将来予測ができてくる。その精度もよくなっていくはずなので、そうするといずれ皆さんに、ここから先こんなことが起こりますよ、だいたこのくらいの時期にこんなことが起きる可

ネットでも公開しています

能性がありますよと具体的に言えるようになる、というのが今回の計画のミソですね。

— 多くの国と一緒にやるのですか。

野木 ええ。10か国ぐらいだったと思います。

— 論文はどこが書くのですか。

野木 ニュージーランドが主導していますので、論文の大きなフレームはニュージーランド主導で参加国と共同で書くと思われま。ただ研究者には専門の分野がありますのでね、それぞれの分野ではしっかりとした結果が出るはず。専門分野をキーにした題材だと、専門にしている研究者がトップの論文が日本からも出てくると思います。

— 観測と研究だけでも大変だと思います。そこに論文を書いて、その論文も速さとか精度とか世界で競い合いたと聞きました。体力も頭脳もって、本当に大変なお仕事だと思います。

野木 フィールドがいいのは、取ってきた時点で自分たちのオリジナルなんです。そこをしっかりと解析して、もちろん当たりはずれはありますが、当たり前なら多くの成果を出せるわけですね。観測がいい、つまり計算などと違うのは、自ら行ってデータや試料を取ってくる、だからそれをベースにできるわけですよ。そりゃ速さも大事ですが、競う時でもオリジナルのデータがベースになってますから。最初にどこのデータを取ってくるか、観測したどのデータを取るかで、ここはウチラの勝ちね、ってことあるんですよ。観測が大事というのはこういう所にもあるんです。今後はモデリングと観測、両方ができる人材が増えてくれば成果も加速していくと思います。

— 50周年から次の50年、100年に向けて、今地球は異常気象の大変な時に来ていますが、所長として極地研をどんな風に運営さ

野木義史さん

国立極地研究所 所長。

1961年神戸市出身。専門は固体地球物理学。神戸大学の学生だった時に、アルバイトで南極海の資源探査の船に乗る機会を得た。第30次夏隊に隊員として参加するため、大学で助手にしてもらい、初めて南極大陸に上陸して帰国。戻ってすぐの1989年、博士課程を中退して気象研究所に入り、6年の経験を経て1994年10月から極地研。気象庁にいる間にドクター取得、深海掘削にも参加した。もともとは陸上で地電流や地磁気を測る、地下の構造を電気で測る観測をしていた。それを海でやりたいと思い、対象を海に変更。海で使う機器は特殊なので、その扱いを覚えてもらうため当時の東大海洋研にも頻りに通った。日本の観測隊には4回、うち1回は越冬。

れていられるのでしょうか。

野木 異常気象に伴う様々な現象ですが、今後のことは最終的に自然に頼るしかないと思います。人工的に無理するとそこがまたひずみになるから。なんだかんだ言って、人間は自分の住みたい環境を作りたいから、それで自然を変えてきてしまったところがあります。欧米ってあまり地震が起きないんですよ。日本は地震が起こる。だから諸行無常って物事は変わっていくよと。あまり抵抗できないって思っているけれど、逆に欧米の建物を見るとわかりますが、秩序よく人工物を作って並べているじゃないですか。あれは安定した地だからだと思えますよ。むしろ自然をコントロールできているんじゃないかなとさえ感じます。ところが今、その考えを変えなければいけなくなっている。もちろん一部は自然を相手にしたら勝てないってわかっているんでしょうけれど、往々にして人間は自然をコントロールできているんじゃないかなと。あるいは、逆にここが次のステップだと思っていくことも大事かもしれない。いずれにしても、その先どういう影響を及ぼすかをちゃんと調べなきゃいけないです。この温暖化を止めるにはどうしなきゃいけないのか、とね。あまり人為的なことはやりたくないけれど、もしかしたらそうしたことも手段としてやりますかという議論は出てくるでしょう。その時にきちんとデータを集めてその先のことをしっかりと予測してやるのが大事でしょう。

— 本当に難しい局面ですよ。極地研の重要性というのは、昨年テレビ局が南極に同行して広く報道してくれましたね。

野木 そうですね、フジテレビとテレビ朝日ですか。我々の思った以上に報道していただけてね、あれは助かりました。こちらが想像もしていなかったのですが、衛星回

線というか、船の上からもあれだけの放送ができるとは思っていませんでした。

— リアルタイムでしたものね。

野木 皆さんにはああした報道からもわかっていたらいい、こちらのフィールドに入ってきていただきたいですね。やっぱり次の世代につなげていかなければならない。そこが一番重要かもしれないです。

— 先ほども話題に出ましたが、大変なお仕事です。フィールドワークに加えて頭も必要なんですから(笑)。

野木 楽しさがわかると次があるんですけどね。面白みのようなものがわかってもらえると。

— 工藤先生も同じようなことをおっしゃってました。それにしても、未来はあるのかと絶望的になる今回の連載でした(笑)。

野木 我々のやるべきことは希望的観測ではなくて、現実のデータから今後どうなっていくかをクリアにすることなんです。そしてそのために何をしなければならぬかを明らかにしていく。今まで、乗り越えられなかったことはないでしょ、と思うのでね。

— 最後にもう一度おうかがいしますね、これからの極地研は?

野木 極地研の重要性をアピールしつつ、若手を育てる育成も含めて、本当は観測拡張ができればいいと思います。国際的な協力もちゃんとやりながら、強化していく。機動的にいろいろなことができるようになってほしいと思います。環境的にお先真っ暗に思っているかもしれませんが、その先を見据えるために、極地研はどれだけやれるかを真剣に考えなければならぬ時が来ていると思います。それこそお金が無いとできないけれど、予算も確保しながらやらなければならない。予算も厳しくなっていますが(笑)。



2024年1月4日 柴崎町2丁目

えくてびあん流ダイヤモンド富士は、これ！

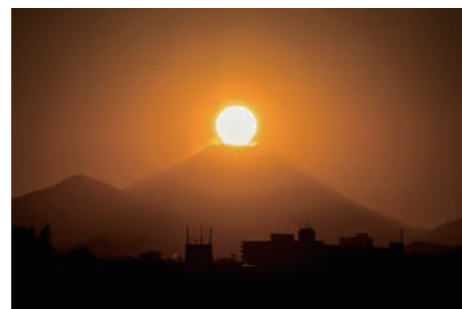
冷たく空気が澄むと、くっきりと見えてくる富士山
夕陽の中で黒いシルエットが浮かび上がる
立川から見える太陽の直径と、富士山の山頂の幅が
ほぼ一致するのが立川のすごいところ

国立極地研究所の中村卓司先生にお願いして、立川でえくてびあん流にダイヤモンド富士が撮れる場所と時間を割り出す方法を教えてもらったのが2011年12月。その後中村先生は極地研の所長になられて、その時のインタビューで「あれは結構大変な計算だったんだ」とおっしゃっていました。

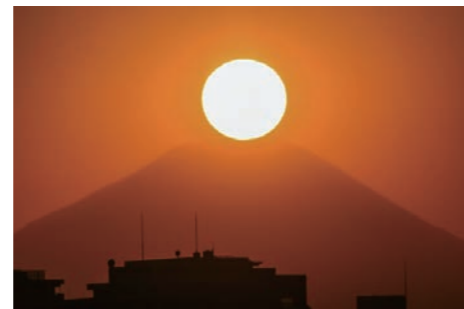
さて、それからのえくてびあん、毎冬ダイヤモンド富士を追いかけて、今ではもう計算しなくても条件さえ整えば、えくてびあん流ダイヤモンド富士が撮影できるようになりました。その軌跡をご覧ください。



2018年12月21日 富士見町1丁目

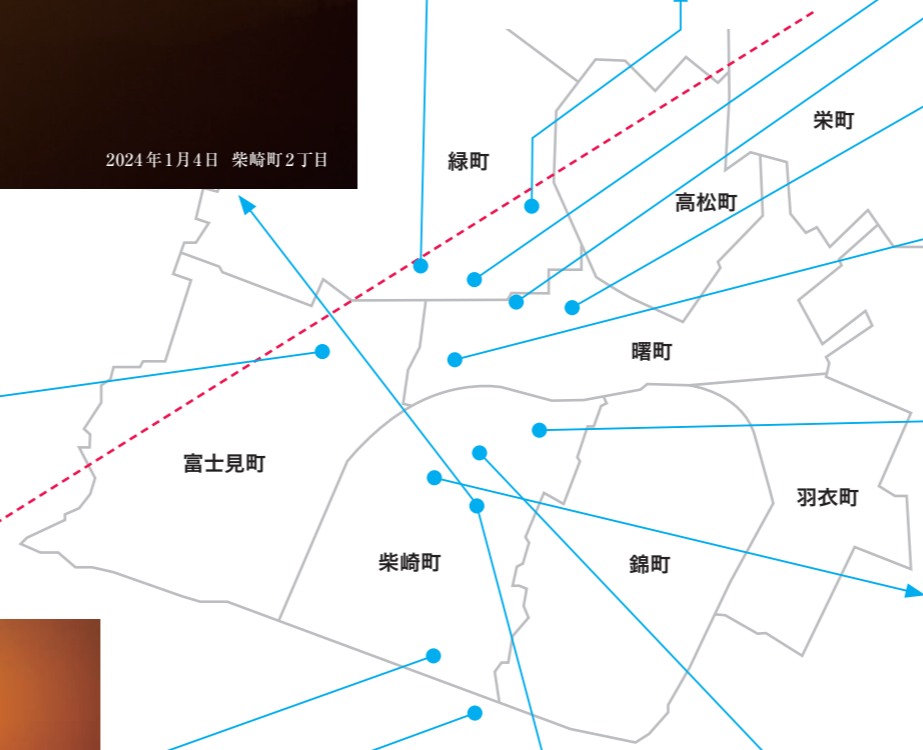


2019年12月4日 立日橋

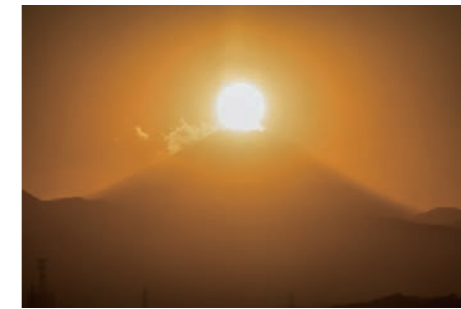


2019年1月8日 残堀川

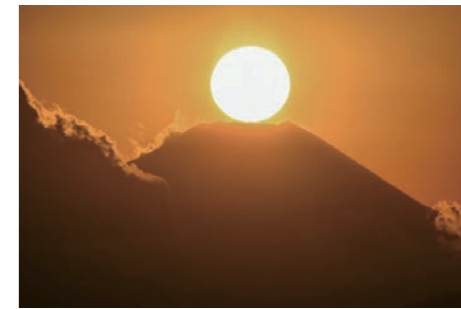
この赤い点線より北側では「えくてびあん流ダイヤモンド富士」は撮影できない。



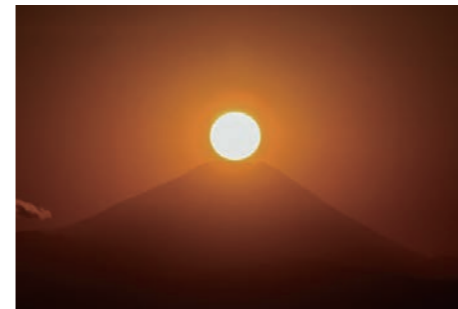
2017年12月15日 緑町



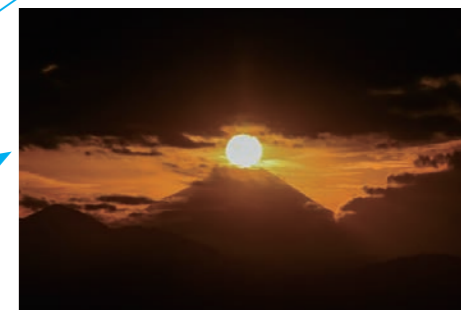
2020年12月15日 緑町



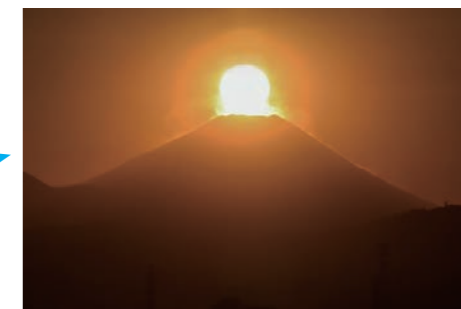
2019年1月1日 曙町2丁目



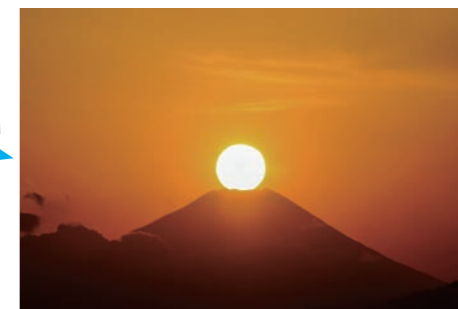
2017年12月18日 緑町



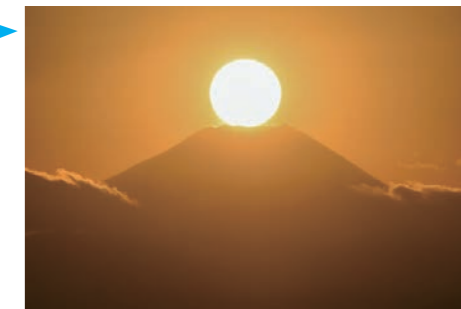
2018年12月10日 曙町2丁目



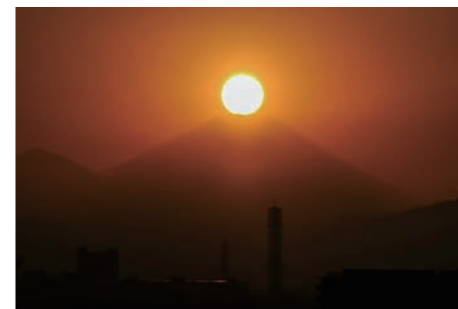
2017年12月11日 曙町2丁目



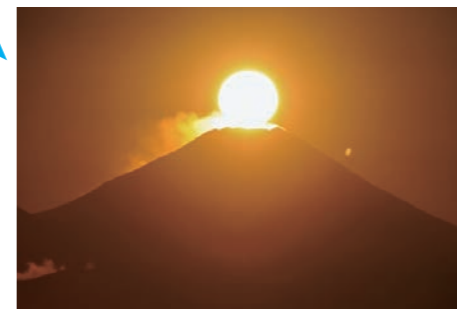
2014年12月10日 柴崎町2丁目



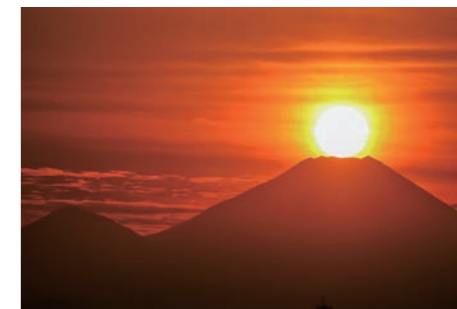
2019年1月4日 柴崎町3丁目



2016年1月4日 柴崎町2丁目



2011年12月9日 柴崎町2丁目



2015年12月9日 柴崎町2丁目



ネットでも公開しています

立川から見える 富士

えくてびあんはリストのお店にあります。
今月は 富士見町・緑町・泉町・西砂町・一番町・上砂町・砂川町・柏町・幸町・若葉町・栄町のお店です。

- 富士見町
乙黒東洋整骨院...523-1859
インテリア アイアイ...522-5972
多摩信用金庫 富士見町支店...528-1741
酒 ESPOA おぎの...522-4500
(株)立川印刷所...524-3268
はじめ治療院...524-7727
松栄寿司...524-6958
ふじみ食堂...523-4791

- 緑町
多摩信用金庫 本店...526-7700
GREEN SPRINGS info...524-2222
Adam's Awesome Pie...595-8375
国立国語研究所...540-4300
国立極地研究所...512-0652
南極・北極科学館...512-0910
国文学研究資料館...050-5533-2900
花みどり文化センター...528-1751
昭和天皇記念館...540-0429

- 泉町
インヴォラーレ・ルーデンス
立川ルーデンステニスクラブ...525-9677
blooming bloomy うらぼーと立川立飛...548-1215
海上保安庁海上保安試験研究センター...526-5630
Café はあもにい...512-7810
大和ハウス工業(株)東京西支社...525-1821

- 西砂町
砂川庵 甚五郎...531-6788
私立立川ひかり保育園...531-1273
B3+ギャラリーウェルメイド...538-7250
fresh shop スーパーはしもと...536-2331
ファーマーズセンター みのーれ立川...538-7227
陶工房 己流庵...537-6102
多摩信用金庫 砂川支店...535-4411
珈琲豆焙煎工房 まめ吉...535-1070
BREAD & Sweets マニシエール...537-2202

- 柏町
山梨中央銀行 立川支店...536-0871
株式会社 セレモア...534-1111
パワー軒...535-1665
H.works...537-7763
ペーカリー リオンドール...535-4882
(有)まつい測量...534-4411
ピーコック 玉川上水店...538-3861
菅家医院...536-4602

- 幸町
いなげや 立川幸町店...537-1820
多摩信用金庫 幸町支店...535-5311
中国料理 SANFUJI...536-3813
西武信用金庫 幸町支店...537-3101
お米屋さん 大黒屋...536-0851
松浦商事株式会社...535-6001
至誠キートンホーム...538-2323
とんかつ・割烹 かつ亭...535-4611
ドイツ製法ハム・ソーセージゼーホフ工房...535-5009
和洋菓子 たちばな...537-0347
青梅信用金庫 玉川上水支店...535-3411
BS タイヤショップ 佐藤商会...537-0912
古楽の小屋 ロバハウス...536-7266

- 若葉町
スーパー ヤオコー...538-1711
ありた整骨院...534-1622
カフェ タイニーガーデン...507-1346
カフェ・レストラン てくたく...536-5788

- 栄町
多摩信用金庫 栄町支店...536-9711
いなげや 立川栄町店...523-7201
チーズ王国 本社...513-4101

jorakugajo

真如苑提供番組「常楽我浄」

スカパー！：529ch

スカパー！で放送の常楽我浄は
スマホアプリ「スカパー！番組表」(無料)で視聴できます。

J:COM 多摩：11ch・111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

他の写真などはQRコードからどうぞ



南口の防災フェア

2023年12月3日、晴天の下、立川南口防災フェアが行われました。4年ぶりです。体験型防災フェアですから、いろいろ仕掛けがありました。早々と自衛隊では野外炊事用の車で豚汁を800人分作っていました。いい香りのする第一会場では、火事の煙体験や地震車体験、警察や自衛隊の車両展示なども行われ、第二会場にはさまざまな団体のブースが出て、いずれもいざという時のためになることを教えてくれていました。



開会式



第一会場の様子



煙体験 やってみました、本当に何も見えませんでした



自衛隊の野外炊具1号 豚汁がおいしそう

2023年 締めくくりのホーム戦

12月16日と17日、アリーナ立川立飛で2023年を締めくくる立川ダイスホーム戦が行われました。対するは徳島ガンバロウズ。ランキング上位にいるチームです。16日は立川ダイスの勝利で終わりましたが、17日はとても残念な2点差。残り10秒で勝っていた試合に負けてしまいました。立川ダイス、負けてもとても面白い試合をしてくれるので、バスケットが面白い!と感じるお客様も増えたのではないのでしょうか。この日は立川ダイス公式キャラクター「たっちー」のデビューの日でもあり、連日2000人超えの会場内は大盛り上がり。新年になって初のホーム戦は1月13日と14日、アースフレンズ東京Z戦。さらに1月20日、21日はしながわシティバスケットボールクラブ戦。みんなで応援しましょう。



公式キャラクター たっちー



あ、船谷のボールが...



リックマンがいた!



ダンクシュート、決まったー!

山下洋輔さん、お元気にチャリティーコンサート

12月14日、たましんRISURUホール 小ホールで、冬の恒例イベントです。主催者の「文化・芸術いきいきネットワーク」代表 佐藤典子さんの素敵なお挨拶に始まり、「世界の山下」の演奏を堪能しました。パーカッションの福岡高次さんもすばらしい。山下さんの演奏をこんな風に聴けるのは立川ならではのこと。会場は満席。常連の方々のお顔もあって、楽しいひと時を過ごしました。山下さんのエネルギーな演奏は、みんなに元気を与えてくれますね。



山下さんはトークも面白い



パーカッションの福岡さん



主催者の佐藤典子さん

邨田丹陵 時代を描いた やまと絵師

たましん美術館で邨田丹陵の展覧会が開催されます。邨田丹陵と言えば、多くの方が教科書などで見たことがある絵「大政奉還」図を描いた人です。大正12年の関東大震災後、現在の立川市砂川町に移り住んでいました。前述の「大政奉還」図も、砂川村で完成されたのですから、立川人としては拝見しないわけにはいきません。展覧会は前期と後期に分け、選りすぐりの64点が公開されるそうです。楽しみです。

【小早川隆景公修復図】部分 明治三十五年頃 三原市蔵

- 会場 たましん美術館(多摩信用金庫本店1階)
会期 前期 令和6年1月13日~2月18日
後期 令和6年2月24日~3月31日
料金 一般500円
大学・高校生300円 中学生以下 無料

【聖徳記念絵画館壁画下図「大政奉還」】明治9年、明治神宮蔵
*聖徳記念絵画館の壁画の展示ではありません。

表紙

雪の日の駐車場(柴崎町)

絵のように見えますが、写真です。写っているのはもちろん、「わだち」と「足跡」です。車が白かったのもよかった。モノトーンな「絵」は、静かな雪の日を想起させます。2012年の冬に撮りました。平成になってから、立川に雪が降るのは2月が一番多い。だから2月号の表紙にしか雪の写真は使いません。1年に1度だけ雪の立川が表紙になります。雪の日、カメラマンはあちらこちらに出かけて行って、風景を切り取ってきます。この写真も、いろいろな風景の中の1つです。わだちが木のようにも見え、また行ったきりの足跡に物語を想像する。1枚の写真から空想の世界が広がります。

かたこと

◆能登半島地震により被災された皆様、関係の方々にお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた皆様のご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。立川に総本部がある真如苑では、直ちに対策本部を設置、総額2億円の拠出を決定したと報じられました◆元日の地震に続き、2日に羽田空港で起きた日航機と海保機の衝突事故。立川には海上保安試験研究センターがあり、かつての海保フェアには羽田航空基地からヘリコプターが飛来したこともありました。大事な任務に就いていた尊い命を思うと心が痛みます。また命と言うならば、日航機に預けられていた動物もかわいそうでなりません◆3日には北九州での火事。いろいろあったお正月ですが、えくてびあんをご覧の皆様は穏やかな新年をお迎えになられましたでしょうか◆極地研の連載インタビューが今号で終了します。地球のこれらを憂えておりましたが、野木所長の「今まで、乗り越えられなかったことはないでしょ」という言葉に、少し希望をもらいました。乗り越えられない試練はないと信じて、温暖化に少しでも歯止めがかけられるよう、より良い環境作りみんなで努めたいです◆カレンダーを配る企業が減りました。あのカレンダー、好きだったのになあと思われた方もいらっしゃるのではなないですか。カレンダーがあっても、紙の質を変えたところもあるとか。希少なカレンダー、これからは取り合いになる、かな◆ネットは速いし、スマホは便利です。紙媒体のえくてびあん、今年は紙でなければできないことを追求して、頑張っていきたいなと思っています。どうぞ本年もよろしくお願い申し上げます。 えくてびあんスタッフ一同

えくてびあん ©

2月号 第4巻 通巻467号

令和6年2月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL https://www.tamatebakonet.jp
発行人 黒須 環
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男 (WATER DESIGN ASSOCIATES)
印刷 ダイオームウラ株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。

立川落語会



えくてびあんの写真から

2006年の写真です。「なんだ、ちょっと前じゃない」とおっしゃるかもしれませんが、それでも17年も前のこと。ちょうど第50回立川落語会の時でした。えくてびあんではもっと前から立川落語会の写真を撮っていますが、みなさんの変わりようったら…。いやいや、全然変わらな～い。先月(2023年12月)、第83回立川落語会を見せていただきました。いつもえくてびあんの席を一番前にご用意くださっていて、「ありゃあ、これじゃあ、眠れない」と思っていたら、今回は寝ている暇がなかった。色物などが面白過ぎて。会場のみんなが笑っていました。肝心な落語はというと、みなさん本当にお上手で、高座度胸というんでしょうか、本当にすばらしい。ちょっとでも恥ずかしいなんて気持ちをもたれると、聴いているこちらがこそばゆい。今回のトリは立川亭志ん土さんが「芝浜」を。いつのまにか会場がシーンと静まって、話を聴き込んでいる様子がよくわかりました。毎回トリの話は心を打ちます。次の落語会は2024年5月18日だそうです。木戸銭無料、よろしかったらどうぞいらしてください。えくてびあん note には、メンバーの懐かしい姿がアップしてありますよ。

他の写真はこちらで

